

活動報告書

今月の主な活動

3月は2月に続き製糸場内で開催されていたニット展の記録を残したいということで動画制作をしました。

天気の良い日の午前中が光がキレイということで待っていたのですが、その週に限って曇り、雨。なかなか撮影できず、空いている平日を狙っていたものの、展示終了が迫りやっと晴れた一番混んでいる連休中に撮影する事態になってしまいました。来場者の多い中すり抜けて撮影したため、動画として撮った部分はあまりきれいに撮れず、写真を繋ぎ合わせて作品を見せる構成にしました。撮影自体があまり良くなかったのですが、編集が得意な知人にも手伝ってもらい何とか完成。全作品撮りもしていたのでその中から入賞作品をピックアップし編集したことで、今回人気のあった作品が見れる動画になったかと思います。音を入れるのが得意ではないので音編集はやりたくないと言っていたのですが逃げきれず、なんとか音源を探して完成したのでほっとしています。



動画は富岡シルク推進機構の YouTube からご覧になれます。

https://youtu.be/v050LwZM2XE?si=OC0lp-4_aL19Vq3V

沢山撮った写真もシルク推進機構のインスタの投稿に活用していただけたので少しは役に立ったかなと思います。

今後の予定

これから養蚕シーズンが始まりますが、その記録を取ってシェアしているだけでは変革はできず、富岡シルクというモノの生産に関しては地域おこしで増やせるわけではなく、製糸場が停止した理由も採算性の問題だとなれば簡単に需要が増やせるわけでもない。ないないづくしではありますが、もう少し間口を広げて富岡市のシルクを残すべき理由、歴史、興味関心を上げてもらう地域課題の解決策はないものか、引き続き調査・研究していき、実施まで持って行ければと考えています。この手の問題は富岡市に限らず、地方都市共通の課題だと思っています。前橋市がアートの頑張っているということで久しぶりに視察しましたが、言い方は悪いですが頑張っているのは分かるけど、まだ道半ば。一時の荒廃ぶりに比べれば確かに新しく入ってきている店舗も増えきれいになった部分はありますが、まだまだだなと感じます。

世界遺産だからとりあえず見に行った、で終わらない地域ならではの面白さは埋もれているのではないかと思います。富岡市でキウィも採れて、追熟という方法がある事にも驚きでしたが、バナナが採れると聞いたときは衝撃でした。